

## 天声人語

ドライバーのいるない無人自動走行のタクシーを、東京五輪で「日常の足」として使えるようになりたい。空港や選手村、競技会場、観光地、ホテルを結びたい」。会議に出された資料には、数年後の構想がイメージ図とともに描かれる▼昨日、政府と経済界との2回目の「官民対話」があった。議論を受けて安倍首相が宣言した。「世界に先駆けた第4次産業革命を実現します。スピード勝負です」。寡聞にして第4次産業革命という言葉を知らなかつたので、驚いた▼石炭と蒸気機関の第1次、石油や電気の第2次、情報技術による第3次に続く大変化とか。人工知能やビッグデータが活用される。本当に革命と呼ぶに値する現象になるのか、門外漢にはわからない。経団連の榎原会長は先月の初会合で「少し大げさな表現であるとは思うが」と言つていた▼「女性が輝く」に続き、「1億総活躍」。耳に心地よくても抽象的でざっくりした言葉を躍らせるのが現政権は得意だが、今回はどうだろう▼首相によれば、小型無人飛行機ドローンを使った宅配も3年以内に実現するという。人の仕事を機械が次々肩代わりしたら雇用はどうなるのか。人は「より創造的な活動」に専念するとの議論があるが、変化についていける人ばかりではあるまい▼第4次革命はむろん成長のためにある。来年は参院選だ。選挙が近づくと経済の話をし、終わると憲法や安全保障面で持論を進める。現政権の常なる手法も凝視しておく必要がある。